

総合教養講座で先輩方に聞く 私たちの将来をより豊かにするには



▶西岡さんは自分のやりたいことに挑戦することの大切さを語られた。

西岡津世志さん

今回の講演のためにアメリカから帰国された西岡津世志さんはボストンでラーメン店「夢を語れ」を経営されていました。高校卒業後芸人になつたものの、ラーメン店を開くという夢を捨てきれず転職されただそうだ。

西岡さんは高校時代を「東京で過ごす」と語った。高校時代は「自分たちが面白そうで会つてほしくてほしいうふうに、自分がやりたいことをやる」ことが大事」と述べられた。最後に本校生に向けて「『どうせ無理だ』と考えず自分の心で感じた道を突き進んでほしい」とエールを送られた。

松島夢子さん

松島夢子さんは昨年も総合教養講座に参加させていたそうだ。松島さんは転職に失敗された経験があり、自分と同じ失敗をする人が出てほしくないという思いから、現在は転職サービスの仕事をされている。松島さんは生徒の印象

高に入学することが目標だったので入学してから目標を見失つてしまつた。『こうしたい』という目標を持っておくべきだった」と振り返られた。

生徒にどんな大人になつてほしいについて「何をしたいのかすぐに考えて言える大人になつてほしいうふうに、自分がやりたいことをやることが大事」と述べられた。

周防苑子さんが二度転職さ

周防苑子さん

周防苑子さんは二度転職さ

れた経験があり、現在は彦根

でカフェを経営している。

今回の講演に参加することに

なつた経緯を「一緒に講演す

みたかったのと、今の高校生

がどんな感じなのかを知りた

かったから」と話された。高

校時代の経験が活かされたこ

とについて「自信をなくした

ときでもあの厳しかった3年

間に耐えてこれたと思うと頑

張れる」と述べられた。生徒

に向けて「真面目でなくても何とかなる。もう少し遊び心を持つても良いと思う」とメッセージを送られた。

米津恵子さん

米津恵子さんは通訳の仕事をされている。米津さんは今回講演に参加された理由を

「有名大学に行かなくても他の選択肢はあるということを伝えたかったから、参加を決めた」と話された。高校時代の経験が活かされたことについて「当時部活がきつくて嫌だったが、やりきつたことが大きくて生きていると思う」と微笑まれた。また生徒に「忙くてプライベートに使える時間があまりないと思うが、自分の好きなことをする時間の大切にしてほしい」とアドバイスされた。最後に生徒に向けて「今やっていることがすべて将来につながるので、大変だが頑張つてほしい」とエールを送られた。



◀生徒の進路についての相談に乗られる
米津さん



速報新聞

キマグレ

発行所
彦根東高等学校
新聞部
彦根市金龜町4番7号

を「真面目で、反応が新鮮で楽しかった」と話された。自身の高校時代を「もっと色々なことを一生懸命やっておけばよかった」と振り返られた。生徒に向けて「人生何とかなるので今を楽しんでほしい」とメッセージを送られた。